

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 2年 10月 12日

福岡県知事 殿

提出者

住 所 福岡県大牟田市岬町1番地16

氏 名

昭和アルミニウム缶株式会社 大牟田工場

工場長 阿部 浩也

電話番号 0944-41-2111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	昭和アルミニウム缶株式会社 大牟田工場
事業場の所在地	福岡県大牟田市岬町1番地16
計画期間	令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	非鉄金属製造業
② 事業の規模	令和元年度 5,367,000千円(590百万円)
③ 従業員数	80名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	廃水処理設備 脱水後全量委託処理

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	無機汚泥	ガラスくず等
	排出量	1915.7 t	0.094 t
	(これまでに実施した取組) 無機汚泥：脱水処理 ガラスくず等：蛍光管使用削減(LED照明への切り替え)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	無機汚泥	ガラスくず等
	排出量	1885.0 t	0.09 t
	(今後実施する予定の取組) 無機汚泥：脱水処理 生産計画については昨年実績の1.6%減なので、排出量も1.6%の削減。 ガラスくず等：蛍光管使用削減(LED照明への切り替え)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) なし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		
① 現状	【前年度（令和元年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組) なし	
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組) なし	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		
① 現状	【前年度（令和元年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	無機汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1720.6 t
	(これまでに実施した取組) 脱水処理	
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	無機汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1693.1 t
	(今後実施する予定の取組) 生産計画については昨年実績の1.6%減なので、排出量も1.6%の削減。	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	無機脱水汚泥	
	全処理委託量	195.1 t	0.094 t
	優良認定処理業者への処理委託量	151.5 t	t
	再生利用業者への処理委託量	43.6 t	0.094 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 無機脱水汚泥：中間処理後にセメント材料として再利用 ガラスくず等：蛍光管使用削減(LED照明への切り替え)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	無機脱水汚泥	ガラスくず等
	全処理委託量	191.9 t	0.9 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	149.1 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	42.8 t	0.9 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>無機脱水汚泥：生産計画については昨年実績の1.6%減なので、排出量も1.6%の削減。</p> <p>ガラスくず等：蛍光管使用削減(LED照明への切り替え)</p>			
※事務処理欄			

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排 出 量	81.4 t	35.4 t
	(これまでに実施した取組) なし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排 出 量	81.4 t	35.4 t
	(今後実施する予定の取組) 汚泥：メンテで水槽内点検、清掃で汚泥が発生する。 汚泥、廃油：生産計画については昨年実績とほぼ変わらないので、昨年実績ベースとする。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) なし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) なし			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	
	(これまでに実施した取組) なし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	
	(今後実施する予定の取組) なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	全処理委託量	81.4 t	35.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	81.4 t	35.4 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 汚泥は、中間処理後にセメント材料、燃料及び肥料として再利用。 廃油は、中間処理後に燃料として再利用。		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	全処理委託量	81.4 t	35.4 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	81.4 t	35.4 t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
汚泥は、中間処理後にセメント材料、燃料及び肥料として再利用。			
廃油は、中間処理後に燃料として再利用。			
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木屑
	排 出 量	19.2 t	57.2 t
	(これまでに実施した取組) 歩留改善で、使用量削減 梱包材の多い材料の受入れ増加で梱包材の廃プラスチック類と木屑増加		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木屑
	排 出 量	20.2 t	71.5 t
	(今後実施する予定の取組) 今後も梱包材の多い材料の受入れ増加し、梱包材の廃プラスチック類と木屑増加する見込みである。 歩留改善と材料の見直しにより、梱包数を削減することで梱包廃材の削減努力を行う。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) なし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) なし			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木屑
	全処理委託量	19.2 t	57.2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	4.8 t	t
	再生利用業者への処理委託量	14.4 t	57.2 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 廃プラスチック類：中間処理業者にて分別、再資源化。 木屑：中間処理業者にて、破碎しバイオマス発電燃料として使用。 梱包材の多い材料の受入れ増加で梱包材の廃プラスチック類と木屑増加		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木屑
	全処理委託量	20.4 t	71.5 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	5.8 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	14.6 t	71.5 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
<p>廃プラスチック類：中間処理業者にて分別、再資源化。</p> <p>木屑：中間処理業者にて、破碎しバイオマス発電燃料として使用。 今後も梱包材の多い材料の受入れ増加し、梱包材の廃プラスチック類と木屑増加する見込みである。</p> <p>今後も梱包材の多い材料の受入れ増加し、梱包材の廃プラスチック類と木屑増加する見込みである。 歩留改善と材料の見直しにより、梱包数量を削減することで梱包廃材の削減努力を行う。</p>			
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図) 別紙のとおり		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
① 現状	【前年度（令和元年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	金属屑
	排 出 量	0 t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	金属屑
	排 出 量	0 t
	(今後実施する予定の取組) 有価物として処理	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) なし	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) なし	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属屑	
	全処理委託量	0 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) なし		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属屑	
	全処理委託量	0 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(別紙)

管理体制

統括責任者	工場長
環境管理責任者	設備課長 (1名)
廃棄物処理責任者	設備課 (1名)
廃棄物担当課	設備課 (1名)
環境管理責任者	①廃棄物処理方針の策定
	②廃棄物処理に関する目的目標の策定
	③廃棄物処理に関する各種事項の決定・承認
廃棄物処理責任者	①廃棄物処理計画の作成
	②廃棄物管理状況の把握と改善等の検討
	③廃棄物処理施設の運転・管理状況の把握
	④処理業者、再生業者の調査・選定
	⑤委託契約の締結
	⑥マニフェストの管理
	⑦監督官庁への各種報告
	⑧社員、関連会社に対する教育
	⑨その他、関係する事項

組織図

